

全国初、ドローン粒剤散布機で播種

当 JA ブランド米はなふじ生産を省力化

10月29日(月)

大津市上田上地区の圃場4.5haで、ドローンの粒剤散布機を用いて地力増進作物の播種を行いました。ドローンでの地力増進作物の播種は、全国でも例ありません。

大津地区では、ヘアリーベッチという優れた緑肥効果を持つ地力増進作物を緑肥として、コシヒカリ「はなふじ」を栽培しており、ヘアリーベ



上田上の新免営農組合で、ドローンを使いヘアリーベッチを播種しました。

ッチを田植えの前にすき込んで緑肥とし、化学肥料を一切使用することなく育てる米。

これまでは、大豆がまだ収穫できていない圃場に管理機や背負い式動噴で播種していました。しかし、収穫前的大豆に影響し、収量が減る可能性もありました。そこで、当JAがドローンで水稻の穂肥の散布試験を行った実績があることから、粒径がほぼ同格の種子であるヘアリーベッチの播種を行うこととなりました。

前例がなく初めての試みであるため、散布機の開口具合や回転数を調整しながらの実施でした。